

大分県立芸術文化短期大学附属図書館

## 図書館だより

No. 29  
2017.Oct.

The Oita Prefectural College of Arts and Culture Library Bulletin



表紙作品『平面別府』 香川 綾子(2013年美術科卒業)

デジタルイラストレーションによるこの作品は、別府「竹瓦温泉」の地域性や歴史感などを研究調査。それを背景にファンタジックな世界観やキャラクターデザインで表現し、大型のプリンターで制作されたアート作品です。

## Contents

- ① 先生おすすめの一冊
- ② 視聴覚室へ行こう!
- ③ 学生選書ツアー
- ④ こんな本が新しく入りました
- ⑤ 図書館のお宝紹介

# 先生おすすめの一冊



美術科

八木 明知  
先生

## 『[アートフィールド] フランス現代美術』

岡部あおみ 著 702.35/037

ピエール・スーラージュ、ジャン＝ピエール・レイノー、ダド、ジャック・モノリー、アンリ・クエコ、ダニエル・ビュレン、クロード・ヴィアラ、クリスチャン・ボルタンスキー、ジャン＝ミシェル・アルペロラ、ジェラルド・ガルースト、ベルラン・ラヴィエ、リシャルド・パキエ、アンジェ・レッチア、ベルナルド・フォーコン。「カタカナ」ばかり出てきますが、何人知っていますか？1950年代・60年代・70年代・80年代、ニューヨークに世界中のアーティストが集まり様々なムーブメントが繚乱したことを皆さんは知っていると思います。有名なピカソ、セザンヌ、ゴッホ、ゴーギャン等が活躍した19世紀末から20世紀初頭はフランスが多くのアーティストたちを惹きつけましたが、第2次世界大戦後のフランス美術の流れがどのような展開を見せたのかが分かりやすく描かれています。知識がなくても制作をすることができますが（それは間違っていることではありません）、知識があることも間違っていることではありません。興味がわいた人はぜひ手にとってみてください。

(やぎ あきとも/ミクストメディア)



音楽科

高田 喜夫  
先生

## 『ひと目で納得! 音楽用語辞典』

関孝弘/ラーゴ・マリアンジェラ 共著 760.3/Se24

楽譜に『agitato』と書かれていた場合、あなたはどのように演奏しますか？とある先生が、レッスン中に『agitato』という楽語が書かれていたので、「これはどういう意味？」と学生にたずねると、「激して、せき込んで」と返ってきました。「じゃあ、どのように演奏するの？」とさらにたずねると、「???」 どうしていいか、わからないようでした。しばらく考えて「激して・・・せき込んで・・・ゴホゴホ・・・違いますよね？」

今回紹介した本は、ピアニストの関孝弘氏が、イタリア語の日常会話をもとに楽語の意味を説明しています。先ほどの『agitato』については、以下のように書かれています。

①興奮した ②動揺した ③落ち着かない イライラ、はらはら、ドキドキなど、人には落ち着きをなくし、精神的に動揺する瞬間がありますよね。そんなとき、イタリア人は Agitato を使います。(中略) 上下するフレーズやメロディーに合わせた抑揚をつけて切迫感を出して。ただし、あまり興奮しすぎてコントロールするのを忘れないこと！

このように、イタリアの日常会話ではどのように使われているか、それをもとにどのように演奏するかが書かれています。この本を読めば、新たな音楽表現の方法が見つかると思います。ぜひ読んでみてください。また、同じ筆者の『これで納得! よくわかる音楽用語のはなし』(全音楽譜出版社)もおススメです。

(たかた よしお/オーボエ、音楽科教育法)







国際総合学科

ジュリー・ヌートバー  
先生

## 『今のアメリカがわかる映画100本』

町山智浩 著 778.253/Ma19

著者の前書きに書かれているように、「アメリカ映画を観るとアメリカのことがよくわかる」と同時に「アメリカのことを知らないと、アメリカ映画はよくわからない」とも言えるでしょう。アメリカ在住の映画評論家、町山智浩著『今のアメリカがわかる映画100本』では、2007年から2017年までに公開されたアメリカ映画100本が紹介されており、描写的にアメリカ社会の現実が解説されています。超大作から極めてマイナーな小作まで幅広く取り上げられており、著者がその歴史的、社会的背景をわかりやすく解説することによって、おなじみの話題作は何倍も面白くなり、観たことも聞いたこともない映画もおもわず鑑賞せずにはいられなくなるでしょう。本書では、スーパーヒーロー映画『ワンダーウーマン』で女性解放の歴史、ドキュメンタリー映画『クローゼット』では同性愛者の権利などを取り上げています。その中でも特に注目したいのがアクション映画『ニュートン・ナイト』やコメディ映画『ディア・ホワイト・ピープル』などで映し出される、過去にあった奴隷制度から今でも残る黒人差別をテーマにした映画の解説です。アメリカの歴史や社会に関心のある学生に『今のアメリカがわかる映画100本』をお勧めします。

(じゅりー・ぬーとばー／アメリカ研究)



情報コミュニケーション学科

坂口 桂子  
先生

## 『千年企業の大逆転』

野村進 著 509.21/N95

著者の野村さんは、10代の後半から40年近くにわたりアジアに関心を持たれて、欧米の「自由」「平等」「友愛」や「人権」「民主主義」といった価値観に匹敵するものを問い続けておられるのですが、現在のアジアを急速におおいつつある価値観が経済至上主義であることに批判をなげかけられて、「『千年企業』と呼んだ日本の老舗企業ははぐくんできた価値観こそ、アジアから世界に発信できるものではないか」と思いはじめています」と述べられています。

本のタイトルは千年企業となっていますが、100年から200年続いている5社が紹介されています。そのなかの1社は、しょう油や酢、みりん、ごま油、サラダオイル、ソースや麺つゆや各種ドレッシングのふたを製造、いままでにつくりだしてきたキャップの種類はおよそ三千点にのぼり、これは「ユーザーからのリクエストを徹底的に商品化してきた」結果であり、日本人のためだけの厳格な基準、気くばりとも表現されています。

企業の長期経営は、従業員に安心感をもたらします。この本をとおして、今日の競争社会に存続する日本の老舗企業の歩みを、具体的に把握することができます。

(さかぐち けいこ／産業社会学)



# 視聴覚室へ 行こう!



～情報コミュニケーション学科

野田佳邦先生おすすめのディスク～

## DVD『家族ゲーム』(2001年)



この映画のどこに違和感を抱きますか？

森田芳光監督の映画「家族ゲーム」(1983年公開)は、それまで日本人が信じてきた家族観の変化について問題提起をした作品だと思います。この映画からは、両親が自分に割り当てられた父親役・母親役という役割(ロール)を仕事(タスク)として捉えている奇妙な家族観を感じ取ることができます。まるでRPG(ロールプレイングゲーム)のようです。子育てや教育もタスクの一つと捉えているからこそ、思春期の我が子と向き合うべき場面も、家庭教師に簡単に依頼することができるのでしょう。その結果、実の家族ではなく、むしろ他人である家庭教師の方が子供の問題を理解し奮闘するという奇妙な現象が生じ、実の家族関係がとても貧弱なものとして描かれています。ただ、当時は決してこれがスタンダードな家族像ではなく、いわば「実験的に」皮肉を交えて描かれた姿だったのではないのでしょうか。

しかし、公開から30年以上が経過した今となっては、「家族ゲーム」の父親像・母親像が平均的な父親と母親をモデル化した姿であるといってもそれほど違和感がないかもしれません(?)これから初めてこの映画を観る方の中に、劇中の家族のやり取りを違和感なく受け入れ、これは受験戦争がテーマの映画かなと思ったり、家庭教師が最後にテーブルをひっくり返すシーンに(°Д°)ポカーンとなる人が居ても不思議ではないと思います。

1980年頃と比較すると、現在は共働きの家庭が増加し、家族が一緒に過ごす時間がさらに短くなりました。核家族化とともに家族の果たす機能が大きく変化した現在においては、個別化・形式化が極端に進んだ家族が増えていてもおかしくありません。「家族ゲーム」はこうした30年後の未来をも予見して警鐘を鳴らした作品かもしれない——と私は思います。

横長のテーブルに家族4人が横一列に並んで食事をするシーンや、不安感を掻き立てられる奇妙なエンディング・・・学生の皆さんにはどのように映るでしょうか？

(のだ よしくに/情報リテラシー)



### 視聴覚室利用ガイド

開室時間 12:30～19:00 (長期休業中は12:30～16:30)

- ★2階・視聴覚室ではオペラやクラシック、映画などの視聴覚資料が個別のブースで鑑賞できます
- ★CDは貸出もしていますので、1階・カウンターにて手続きをしてください
- ★DVD等、一部資料は館内利用のみとなっています。複数で鑑賞をしたい場合は2階・グループ学習室をご利用ください



### ナクソク・ミュージック・ライブラリー(NML)を使ってみよう!

NMLはクラシックを中心に175万曲以上を自由に聴ける音楽データベースです  
図書館視聴覚室で利用できるほか、自宅のパソコンからでもサービスが利用できます  
ただし、音源のダウンロードは著作権上の問題によりできません  
詳しい内容は、図書館員にお尋ねください



# 学生選書ツアー

学生が図書館に置きたい本を選ぶ、本年度第1回目の「学生選書ツアー」を6月、大分市内の書店で行いました。選んだ本のうち参加者が特におすすめしたいものについてコメントを寄せてもらいました。今回選ばれた計99冊の本は、図書館入口の学生選書コーナーに並べています。

## 学生選書ツアーに参加して

美術科 1年 池田 あかり

「2万円分の本」というと何冊買うことができると思いませんか。自分だったらどんな本を選ぶでしょうか。入学から少し経って、まだ近くの本屋も把握していなかった頃に選書ツアーの張り紙を見ました。図書館に並べる本として一人2万円分も本を選ぶことができるなんて聞いて、嬉々として申し込みました。

当日は各学科から選ばれた参加者が商店街のジュンク堂書店へ集合し、各々店内で選書をしました。候補として考えていた本をいくつかカゴへ入れてみたものの、意外となかなか2万円には届きません。店内を歩き回り、存分に悩んで選んでいくうちにカゴが結構な重さになっていきました。興味はあるけれど

普段なら手を伸ばしにくい高価な本も選べてしまうのが、このツアーの良いところです。

後日の意見交換会では、参加者がお互いに選んだ本を紹介し合いました。それぞれ個性が感じられる「2万円分の本」が並びます。ひたすら小説を積む人、最近興味があるという建築の本を選んでみたという人、海外旅行関係のシリーズを揃えた人、わかりやすい参考書を求めて選んでいた人など同じ条件で選んだだけに個人の好みや違いがよく表れていて興味深く、貴重な体験になりました。

私たちが選んだ本は図書館の一番入口に近い本棚にありますので手に取ってみてください。

## 参加者が特にすすめる本のコメント

美術科 1年 池田 あかり

### 『描き文字のデザイン』 雪朱里 著 727.8/Y97

「描き文字」とは？チラシや商品パッケージ、本の表紙とか映画のタイトルまで、世間に読まれる文字を手描きでデザインしたもの。コンピュータの無い時代のデザインはみんなそうでした。明治・大正・昭和・現代の作家45人のデザインは、どれも個性的で温かみがあり、馴染みのあるデザインもちらほら。



### 『落語ワンダーランド』 779.13/R12

何となく落語が気になる。でも何から見ていいか、難しそうだし...という時に見つけたのがこの本。基本の用語から落語界の歴史、寄席ガイドに断のあらすじ、おすすめの書籍にCD、すごい名人や現代の断家たちのプロフィールまであってまさに落語尽くしの一冊。初心者の私にもわかりやすかったです。



美術科 2年 瀬口 春奈

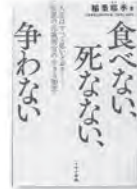
### 『シマエナガちゃん』 小原玲 著 748/O27

シマエナガは北海道に生息する小鳥です。真っ白で丸っこく、ふわふわとした姿はまさに「雪の妖精」です。シマエナガの生態や観察方法も詳しく解説されています。カメラマンが二週間待って苦労の末に撮影した「巣立ち」のシーンも収録されています。冬の北海道に行きたくなる本です。



### 『食べない、死なない、争わない』 稲葉耶季 著 113/I51

スピリチュアルなことに抵抗があったのですが、この本は押しつけがましいところが無く、さわやかです。一貫しているのは、お互いを大事にして、循環しながら命が繋がっていく世界を保つ生き方です。「無性にしたいことの原因は前世にある」という考え方は面白いと思いました。





## 音楽科 1年 市川 澄玲

### 『知識ゼロからのミュージカル入門』

塩田明弘 監修  
775.4/Sh77

ミュージカルをご存知ですか?音楽・歌・ダンス・演劇を融合させた素晴らしいエンターテインメント、それがミュージカルです。この本では、大人から子供まで楽しめる様々なミュージカルが事細かく紹介されています。夏の思い出に、是非この本を手にとりミュージカルを観劇してみたいかですか?



### 『エリザベート20th Anniversary』

775.4/Ta51

実在したオーストリアの皇后を主人公にしたミュージカル、『エリザベート』。この本は宝塚歌劇団が上演した『エリザベート』の魅力がぎゅっと詰まった一冊です。どの役者さんもキラキラしていますが、是非あなたのご最良さん(=推しメン)を見つけてみてください。



## 音楽科 1年 立花 あみ

### 『今日も一日きみを見てた』 角田光代 著 914.6/Ka28

この本は、猫のトトが作者の家に来て、今まで動物を飼ったことのない作者にいろいろな事を教えるといった本でした。作者は、猫を飼うことで初めてひらけた世界の喜びを発見します。また、瑞々しい筆致で涙もそそられます。猫が好きな方にオススメの本です。



### 『ミュージカル教室へようこそ!』 安倍寧 著 775.4/A12

この本は、劇団四季のミュージカルについて詳しく語っている本です。写真つきなので、文章を読むのが苦手な方も楽しく読むことができます。ミュージカルの裏話や構成など様々な事を知る事ができました。ミュージカルが好きな方にとってもオススメです。



## 国際総合学科 1年 岩瀬 可歩

### 『いのちの車窓から』 星野源 著 914.6/H92

俳優業、音楽業、執筆業と様々な活動を行う星野源のエッセイ集。大活躍中の星野源の頭の中を覗くことができます。文章が瑞々しく、一度読み始めたらスラスラ読める面白さです。星野源の人柄の良さが随所に滲み出ており、ありふれた日常の中に楽しみがあることを教えてくれる本だと思います。



### 『社会人大学人見知り学部卒業見込』 若林正恭 著 779.14/W17

人見知りで有名なオードリー若林のエッセイ集。社会人として求められることと自分の能力のギャップや、ネガティブとの付き合い方など一歩踏み込んだお話が書かれています。捻くれている考えばかりですが、意外と共感する人は多いのではないのでしょうか。考え方の指標となってくれる本だと思います。



## 国際総合学科 1年 奥野 友梨

### 『日本が世界に誇る名作モダン建築』 伊藤隆之 著 523.1/I89

日本には、現在でも数多くの近代建築が存在しています。この本では、日本の近代建築の中で特に歴史的・意匠的に優れた建築が紹介されています。どの建築も素晴らしいものばかりで工夫の凝らされたデザインも素敵です。日本の近代建築の魅力を感じるこの一冊だと思います。



### 『世界の不思議な家、楽しい家』 527/Se22

皆さんは塩で作られた家があるをご存知ですか?事実、<塩の家>はボリビアという国に存在しています。他にも、この本では巨大なコマのような家や逆さまのボートの家などごくユニークな家が紹介されています。普段、目にしないような建物ばかりなので新しい発見のある一冊になっていると思います。



## 国際総合学科 1年 甲斐 萌々子

### 『ネイティブがよく使う順 英会話スピード表現520』 原田高志 著 837.8/H32

ネイティブの人が日常で使っている英語を知りたいと思い選びました。この本では、教科書にはない気軽な会話やメールでよく使われる表現が多く取り上げられています。今まで意味が分からなかったSNSの英語表現が理解できるようになるので、ぜひ読んでみてください。



### 『図説アーサー王と円卓の騎士』 マーティン・J・ドハティ 著 930.2/D89

以前からアーサー王物語に興味があったので選びました。この本には、関連のある絵画や人物の心情も書かれており、とても分かりやすいです。また、アーサー王物語を題材にした現代の作品も紹介されており、どなたでも読みやすいと思います。



## 第2回 学生選書ツアー 開催のお知らせ

図書館の大人気企画「学生選書ツアー」を次の日程で開催します。自分が読みたい本、みんなに読んでもらいたい本を“大人買い”するチャンス!ご応募お待ちしております。

**ツアー日時** 平成29年12月9日(土) 10:00~12:00

**人数** 8名(希望者多数の場合は抽選)

**特典** 参加者には3,000円分の図書カードを贈呈

**場所** ジュンク堂書店大分店

**予算** 1名当たり2万円

**応募期間**

平成29年  
11月15日(水)  
~11月30日(木)

# こんな本が新しく入りました

2017年4月～9月までの新着図書の中から学科の先生が選んだ資料を中心に一部ご紹介します

学科	図書ラベル	書名	学科	図書ラベル	書名
美術科	007/Ho/1	Houdini 基礎講座 [DVD]	音楽科	491.19/B14	手の百科事典 バイオメカニズム学会編
	501.83/E74	形態は感情にしたがう ハルトムット・エスリンガー著		B6.38/Abe'K/OT	Modern Japanese marimba pieces = 現代日本マリンバ曲集 安倍圭子編
	673.38/N64/2017	年鑑日本の空間デザイン：ディスプレイ・サイン・商環境		B7.1/Aru/ZO	Armenian rhapsody : for two pianos = アルメニア狂詩曲 Alexander Arutiunian
	723.34/W84	アドルフ・ヴェルフリ二萬五千頁の王国 兵庫県立美術館 [ほか] 編		B7.1/Sho/ZO	Concertino op. 94 for 2 pianos = コンチェルティーノ Shostakovich
	727.6/Ka94/1	風景の中の思想 河北秀也文		B8.32/Men/BrH 1/9-9/9	Oktett Op. 20 = 弦楽八重奏曲 Mendelssohn
	748/Mo17	60 fotos László Moholy-Nagy		B8.42/Spa/SM1/71-71/71	Orient Express = オリエント急行 Philip Sparke
	757.02/D64	図鑑デザイン全史 柏木博監修		C/7657/2017	全日本吹奏楽コンクール課題曲 参考演奏 [録音資料]
国際総合学科	007.64/O76	詳細!Python3入門ノート 大重美幸著	情報コミュニケーション学科	021.4/Ta33	伝わるデザインの基本：よい資料を作るためのレイアウトのルール 高橋佑磨、片山なつ著
	069.62/Y66	歴史のなかのミュージアム：驚異の部屋から大学博物館まで 安高啓明著		338.92/Mi94	図解ASEANを読み解く：ASEANを理解するのに役立つ60のテーマ みずほ総合研究所著
	161.3/O42	聖地巡礼：世界遺産からアニメの舞台まで 岡本亮輔著		361.4/D14	化粧行動の社会心理学：化粧する人間のこころと行動 大坊郁夫編集
	331.19/Ka62	経済指標のウソ：世界を動かす数字のデタラメな真実 ザカリー・カラベル著		490/Ak	赤ちゃんのヒミツ：驚くべき生命力 [映像資料]
	706/Gr	グレート・ミュージアム：ハブスブルク家からの招待状 [映像資料] ヨハネス・ホルツハウゼン監督		548/Y85	VRエンジニア養成読本 養成読本編集部編
	709/Se	アントニ・ガウディの作品群 [映像資料]		775/Ju	12人の優しい日本人 [映像資料] 三谷幸喜作
	778.221/C53	韓国映画100年史：その誕生からグローバル展開まで 鄭琮樺著		780.6/Sh64	スポーツ団体のマネジメント入門 新日本有限責任監査法人著
図書館	281.04/Mo45	日本を飛び出して世界で見つけた僕らが本当にやりたかったこと 森美知典著	図書館	809.6/Ka86	ワールド・カフェをやろう：会話がつながり、世界がつながる 香取一昭、大川恒著
	488/Ka94	鳥類学者だからって、鳥が好きだと思ふなよ。 川上和人著		830.7/C89	海外ドラマはたった350の単語でできている Cozy著
	518.8/Y48	ポर्टランド・メイカーズ：クリエイティブコミュニティのつくり方 山崎満広編著		913.6/Sa85	月の満ち欠け 佐藤正午著
	675/N32	経営とデザインの幸せな関係 中川淳著		916/Ta84	うつヌケ：うつトンネルを抜けた人たち 田中圭一著

## 図書館職員注目の一冊

### 『山奥の小さな旅館が連日外国人客で満室になる理由』

地域活性化、地方創生のカギの1つは外国人観光客の誘致（インバウンド）だと言われても、何も無い田舎で何ができるのだろうと思ったあなた。この湯平温泉（大分県由布市）の古くて小さな旅館の様々な工夫を読めばやる気が出ること間違いなし！ネット社会が産んだビジネスモデルです。（みよし）

二宮謙児 著  
689.8/N76



### 『漂流郵便局：届け先のわからない手紙、預かります』

伝えたかった言葉や、未来の誰かに届けたい手紙を預かってくれる。そんな小説の中に出てきそうな郵便局が、瀬戸内の粟島に実在します。アートプロジェクトの一つとして始まった「漂流郵便局」と流れ着いた手紙たちを紹介した一冊。こんなにたくさんの人の感情が溶けこんだアート作品があるんだなと感動しました。（にのみや）

久保田沙耶 著  
719/Ku14



### 『世界の夢の本屋さんに聞いた素敵な話』

いまや数を減らしている独立系書店。そこはかつて憩いの場であり、夢を追う場であり、出会いの場でした。そんな世界中の本屋さんを訪ねて聞いたこぼれ話を、鮮やかなイラストと共に楽しめます。本屋で暮らしてみたい、そんな本好きにはたまらない一冊。（たかとう）

ボブ・エクスタイン 著  
024/E19



### 『サティシュ・クマールのゆっくり問答』

サティシュさんは1936年インド生まれ。思想家で『リサーチエンス&エコロジカル』誌の編集長です。2013年来日した時、講演を行いました。その際、来場した人との質疑応答だけをまとめた一冊です。テロ、難民、核、環境、貧困など危機が世界中で起こる時代。そんな時代からこそ、不安や恐怖に動機づけられることなく、自由にシンプルに生きようと元気をもらえます。（くどう）

サティシュ・クマール 著  
159/Ku35





## コラム

# 図書館利用の栄枯盛衰

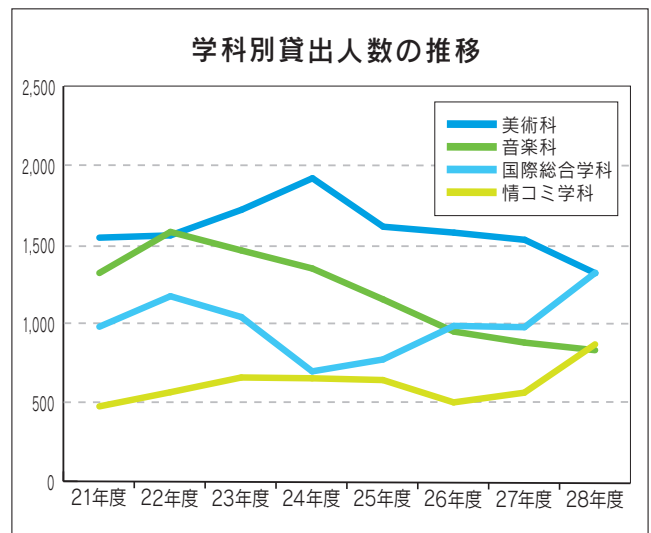
右下のグラフを見て欲しい。平成21年度から28年度までの8年間の学科別の図書館資料貸出人数の推移を示したものである。

美術科は24年度をピークに急速に貸出人数が減少し、28年度は僅差ではあるが国際総合学科にトップの座を譲っている。また、音楽科は22年度にはトップの地位にあったものがついに最下位へと転落した。一方、国際総合学科は24年度から増加に転じトップに躍り出たし、情報コミュニケーション学科も毎年最下位から3位に躍進した。

私が図書館に赴任したのが25年度で、前任者から「芸術系の学生は図書館をよく利用するが人文系の利用が少ない。調べものはネットを使うし、距離的に遠いのもネックになっている。図書館利用者数を増やすカギは人文系にある。」との引継ぎを受けた。その後、人文系2学科はゼミ単位での図書館見学や情コミ読書大賞の創設など先生方が熱心に図書館利用を働きかけるとともに、図書館においても就活コーナーや資格・検定コーナーの充実など学生ニーズにあった選書に努めてきた。その結果、

人文系2学科の利用は増えたが、逆に芸術系2学科の利用はなぜか減少し、その理由は判然としない。

「勝ちに不思議の勝ちあり、負けに不思議の負けなし」というプロ野球の野村監督の名言（元は松浦静山の言葉）がある。勝つときは何となく勝つことはあるが、負けには必然的な要因があるということだが、図書館利用はこの格言の逆で「利用者増に不思議の増なし、利用者減に不思議の減あり」という状況である。美術科、音楽科学生の図書館利用を増やすことは出来るのか。図書館職員の苦闘は続く。(M)



## 図書館の

### お宝紹介

(第4回)

### 『音楽十二講』

「赤とんぼ」の作曲者としてあまねく知られる山田耕筰 (1886 - 1965) ですが、実は徹底した理論家肌の音楽家でもあり、生涯10冊余の音楽理論書を著しました。本学図書館にもその著作のいくつかが所蔵されていますが、今回ご紹介する著作は『音楽十二講』と題されたもの。内容は「音楽通論」とも呼ぶべきもので、西洋音楽に関する事柄を十二章に分けて記述したものです。500ページに及ぶ大著で、音楽の概論的考察に始まり、声楽、器楽、楽器、理論と内容は詳細を極めます。刊行が1951年となっているので、山田の晩年に書かれたものと思いきや、「あとがき」によると出版の30年も前に書かれたものとのこと。山田が留学から帰国したての30代に執筆したわけで、行間から山田の音楽にかける熱気が伝わってくるようです(第3書庫に配架されているので、閲覧にはカウンターで申し込みが必要です。また古い本なので取扱には注意してください)。

(小川伊作／音楽理論)



本や楽譜などの資料の  
購入リクエストはMyOPACの  
購入希望 から受付しています!

ただし、ライトノベル等当館の収書方針に合わない  
資料は購入を見合わせています。  
まずはリクエストを送ってみてください!



ほん太

11月は本活月間  
月に1冊本を読もう!

大分県立芸術文化短期大学附属図書館  
図書館だより No.29

発行日 2017年10月30日発行  
編集・発行 大分県立芸術文化短期大学 附属図書館  
〒870-0833 大分市上野丘東1番11号  
TEL・FAX (097) 545-4235  
<http://www.oita-pjc.ac.jp/library/>  
図書館キャラクターデザイン：若杉郁子